

高所での作業：はしご

2015～2017年の墜落・転落死亡事故の4件のうち1件は、はしごからの転落でした。

はしごを使う必要がある場合には、常に以下のことを心掛けてください。

- 使用前にはしごを確認する！破損がみられる場合には、「使用禁止」のタグを貼り、別のはしごを使用する。
- はしごが自身と自身のベルトを支えられること（負荷の限度）を確認する。
- しっかり安定した土台にはしごを設置する。
- はしごの上では3点支持を守ってバランスを保つ。
- はしごの方を向いて、昇り降りする。



以下を使用する場合...

伸縮はしご:

- はしごを適切な4:1の角度に設置します。*
- はしごの上下を縛って固定するか、他の作業員に支えてもらいます。
- はしごは、登る位置から少なくとも3フィート、サイドレールは最上段から少なくとも1フィート延長します。

脚立:

- 絶対に脚立の最上段や最上部に立たないでください。
- 無理な姿勢にならないように、常に脚立を作業場所の近くに設置します。

計画する。支給する。訓練する。
墜落・転落を防止するための3つの簡単なステップ。

建設現場での墜落・転落事故防止に向けたキャンペーンにご参加ください！

www.stopconstructionfalls.com



計画する。支給する。訓練する。



*NIOSHの無料のはしごアプリを使用して、正しい角度を判断してください。 <https://www.cdc.gov/niosh/topics/falls/mobileapp.html>.

出典: The Construction Chart Book, Section 44, Chart 44c. <https://www.cpwr.com/chart-book-6th-edition-fatal-and-nonfatal-injuries-fatal-injuries-falls-lower-level-construction>.

#StandDown4Safety